

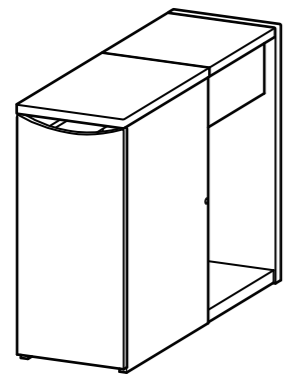
Model Name.

ルーデフト  
ソファサイド ストレージ

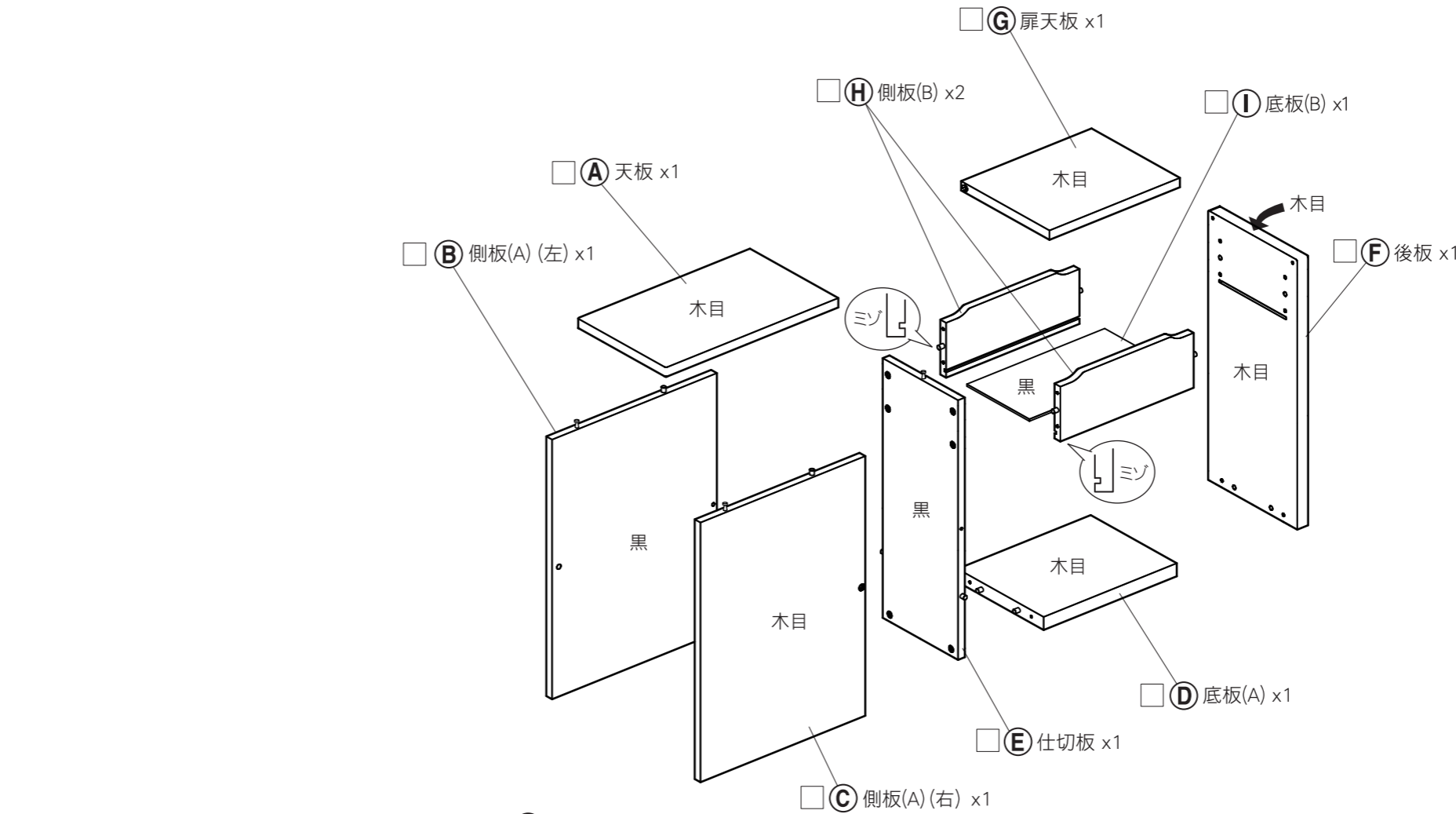
Model No.

RDS-5020ST-NA/DB

完成図



●まずは部品をチェック ✓ しましょう。



部品

□ ①	ラッパネジ		16
□ ②	ストッパーピン		2
□ ③	カムネジ		10
□ ④	締め付けネジ		10
□ ⑤	キャスター		4
□ ⑥	フェルト		2
□ ⑦	クッション		2
□ ⑧	ネジ隠しシール(木目)		8
□ ⑨	ネジ隠しシール(黒)		12
□ ⑩	ASAHI WOOD エンブレム		1

⚠ 組み立てる時の注意点

- 本体を組み立てる時、ハンマーは直接たたかないで当て木又は厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。

⚙ 組み立ての必需品

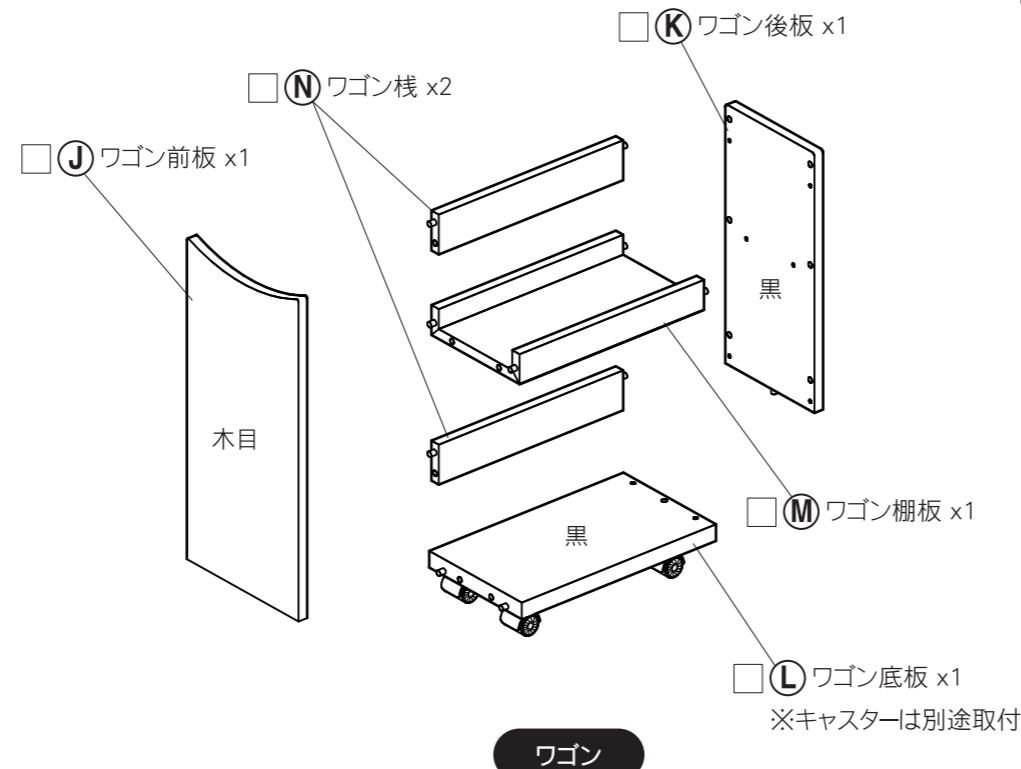
プラスドライバー



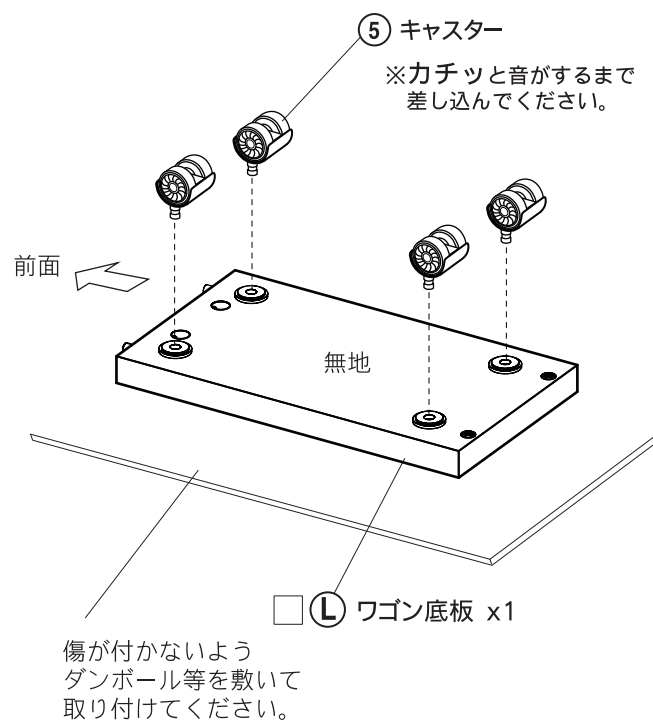
※ no.2 のドライバーを準備してください。



ハンマー

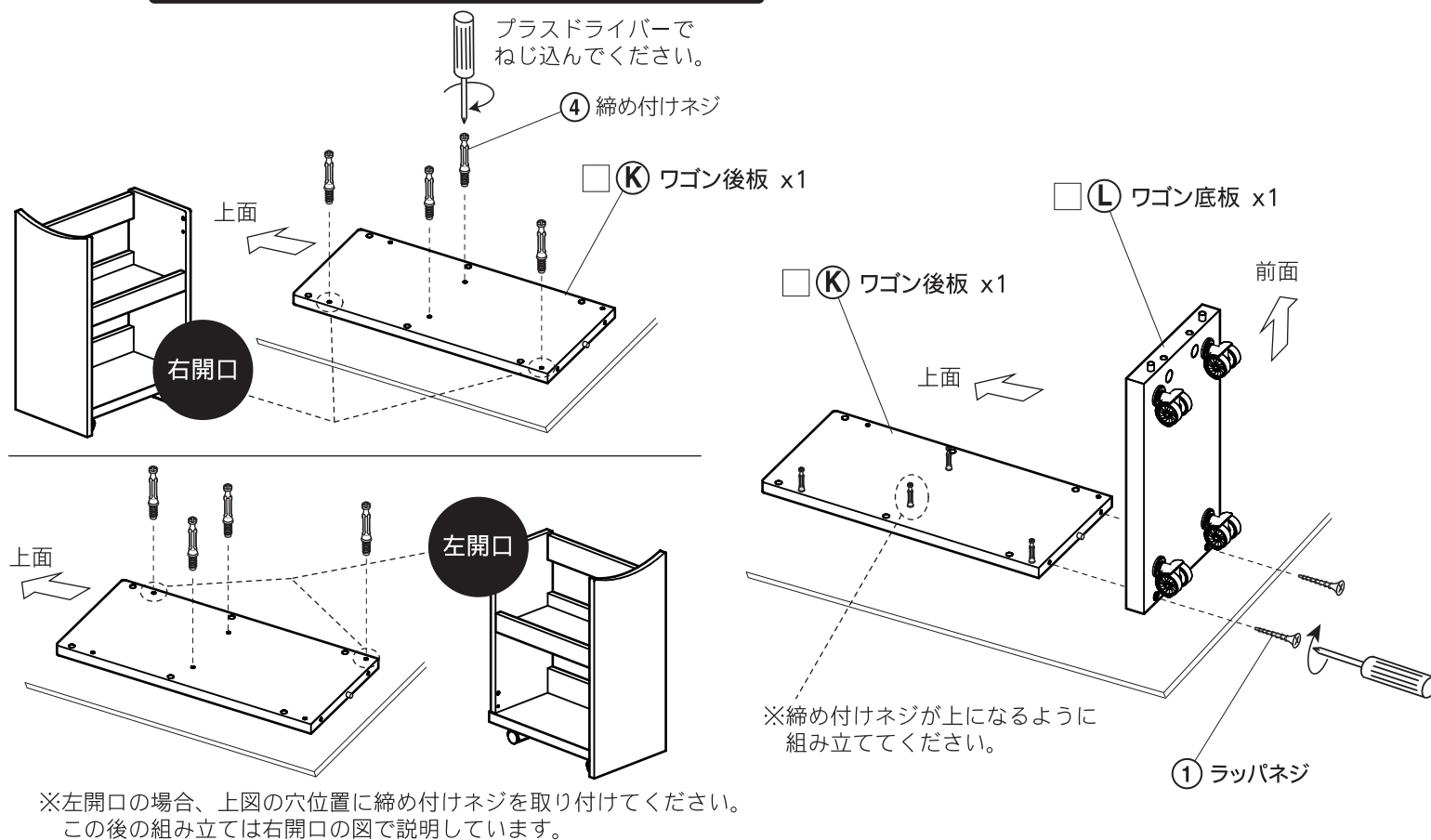


## 1 L ワゴン底板に キャスターの取り付け

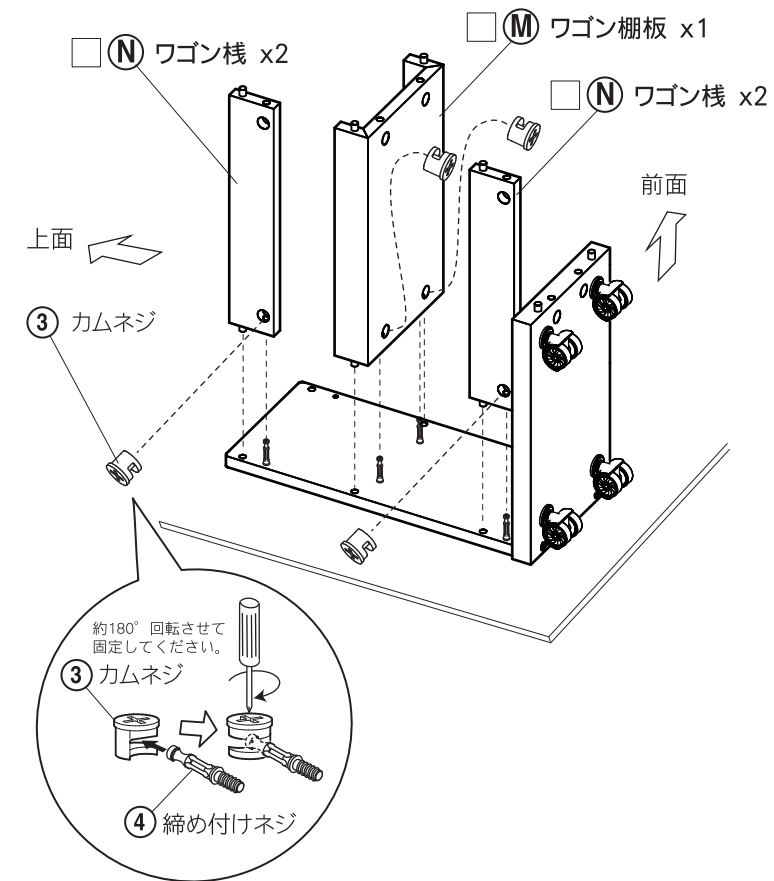


## 2 L ワゴン底板と K ワゴン後板の組み立て

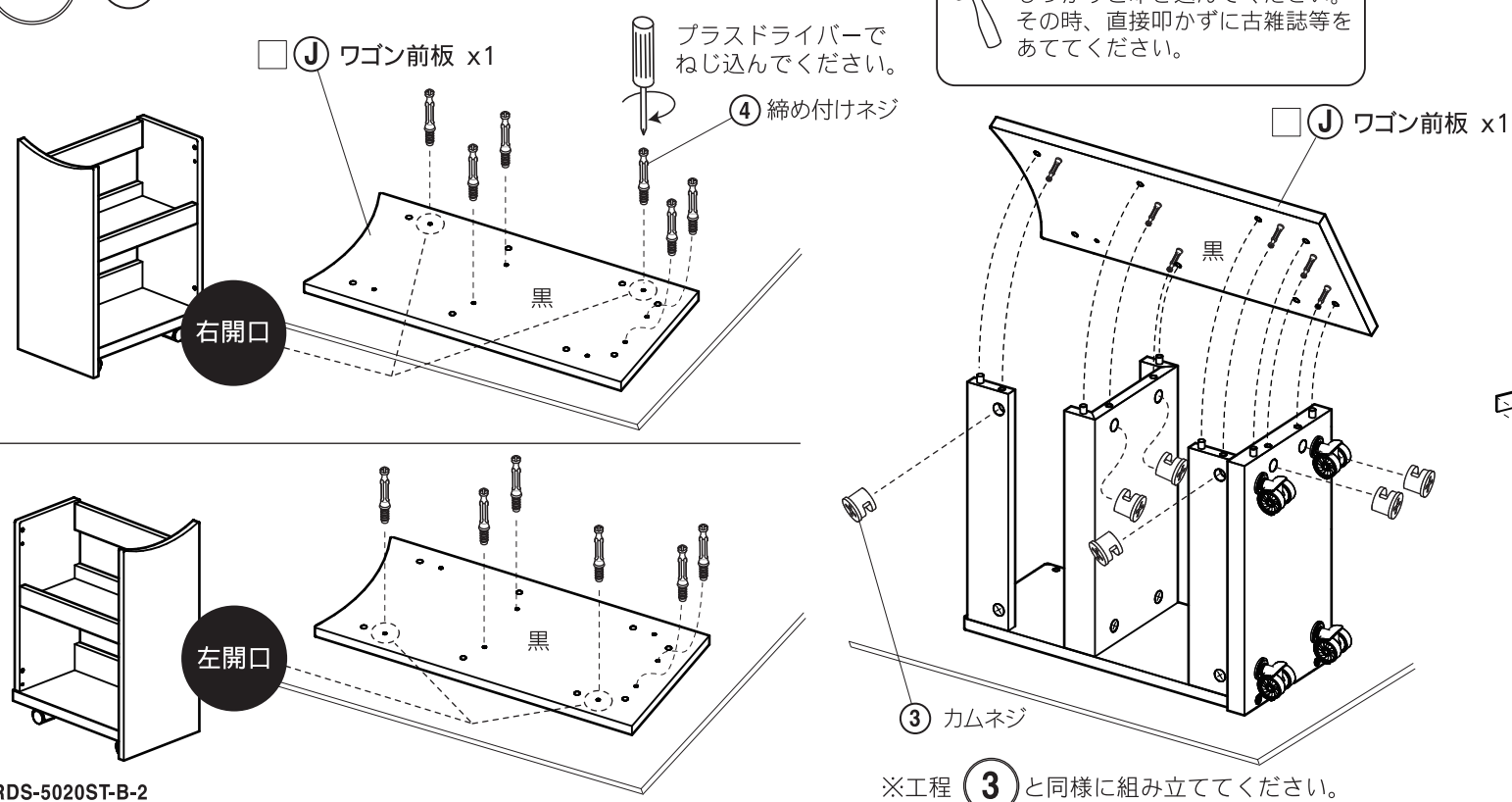
ワゴンは組み立て方によって左右の開口部を変える事ができます。下図を参考にお好きな方向で組み立ててください。



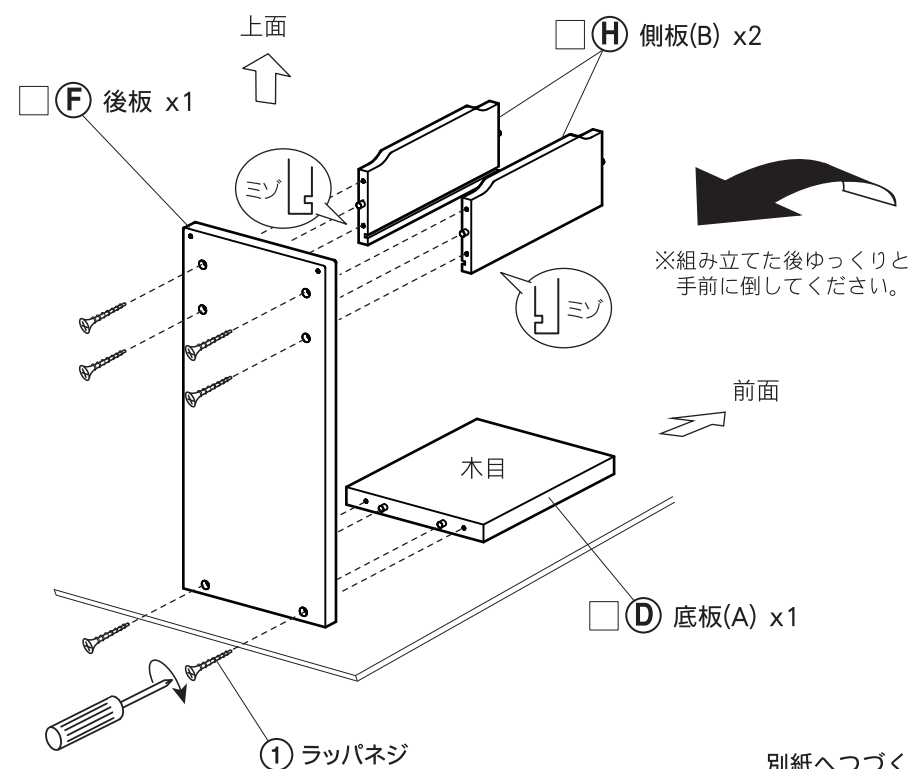
## 3 M ワゴン棚板と N ワゴン棧の組み立て



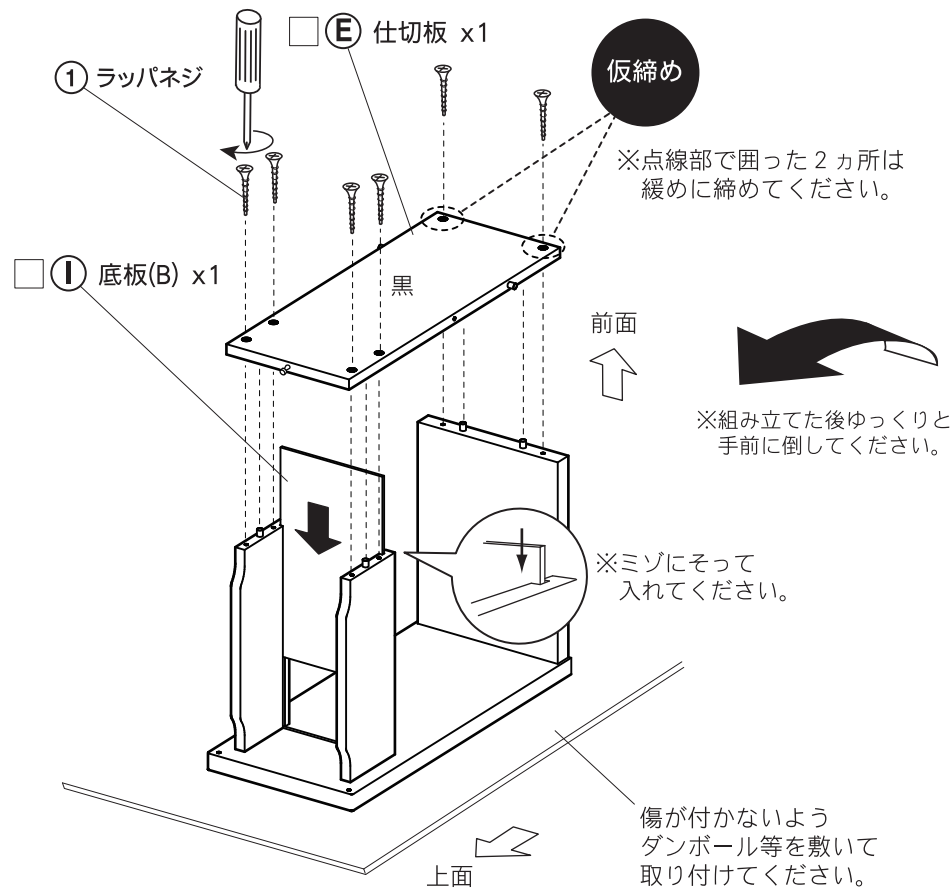
## 4 J ワゴン前板の組み立て



## 5 F 後板と D 底板(A) H 側板(B)の組み立て



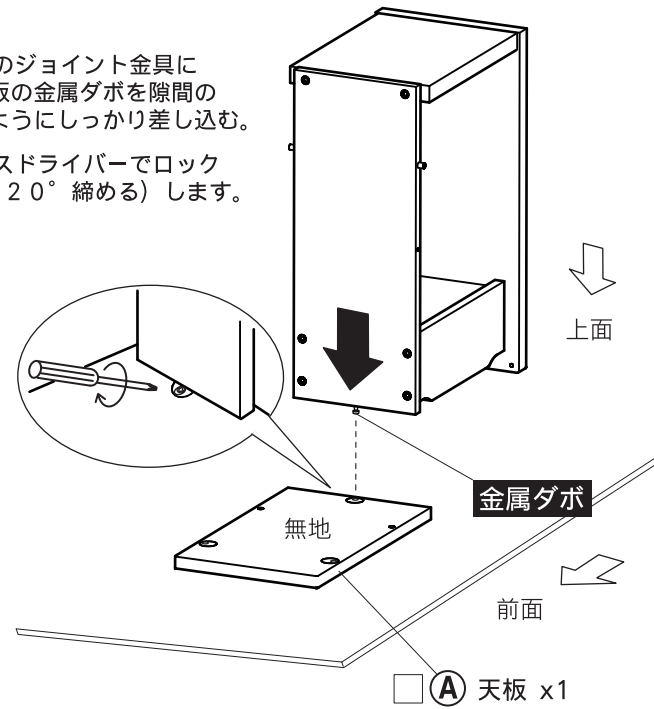
## 6 ① 底板(B)と ⑤ 仕切板の組み立て



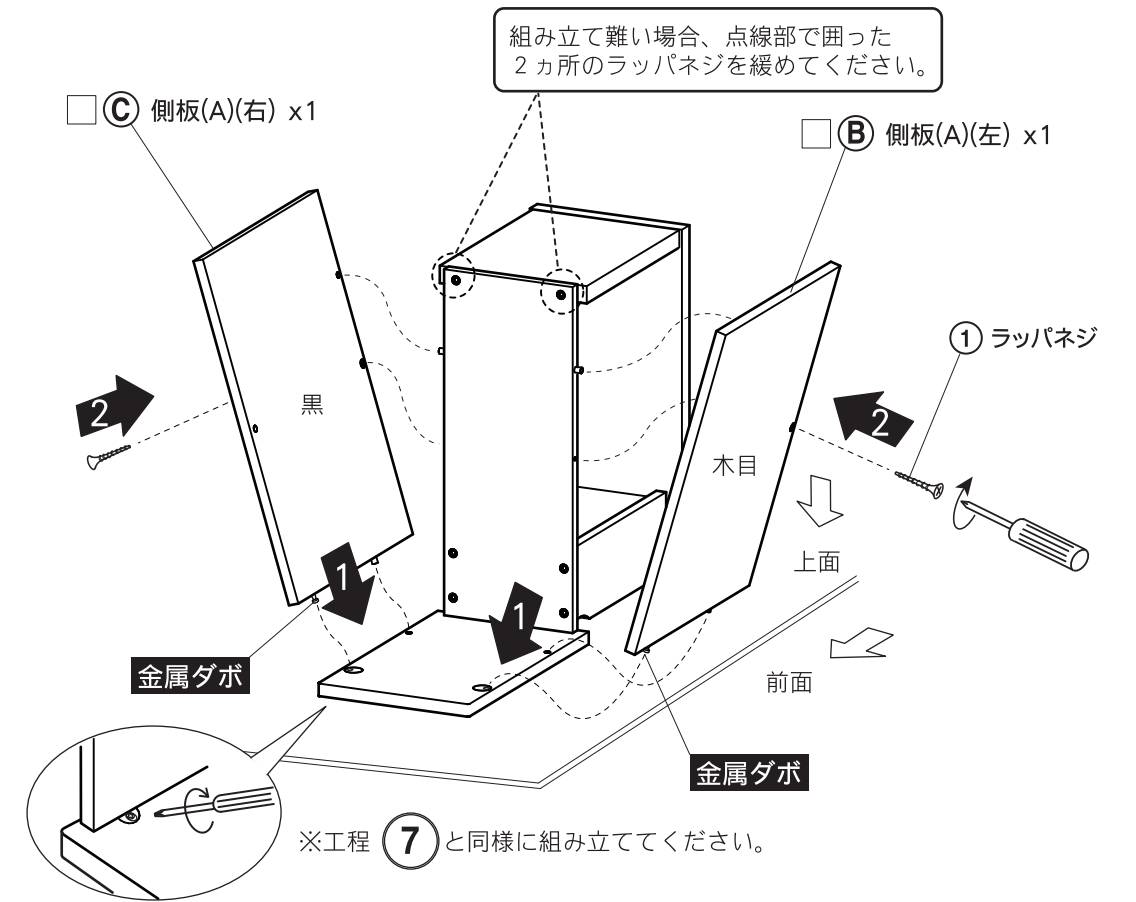
## 7 ① 天板の組み立て

### 手順

1. 天板のジョイント金具に仕切板の金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
2. プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

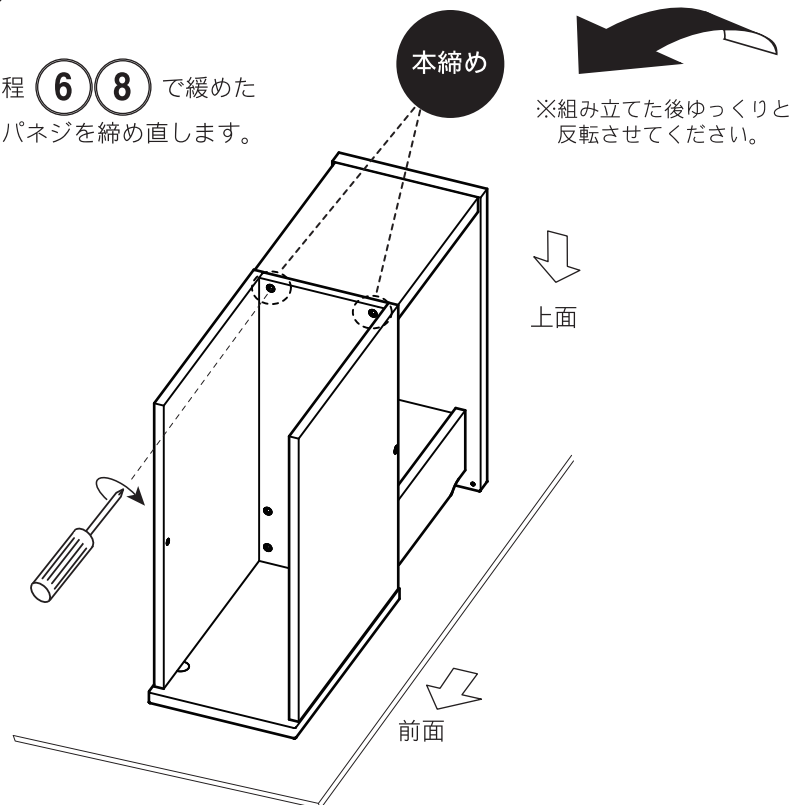


## 8 ② 側板(A)(左) ③ 側板(A)(右)の組み立て



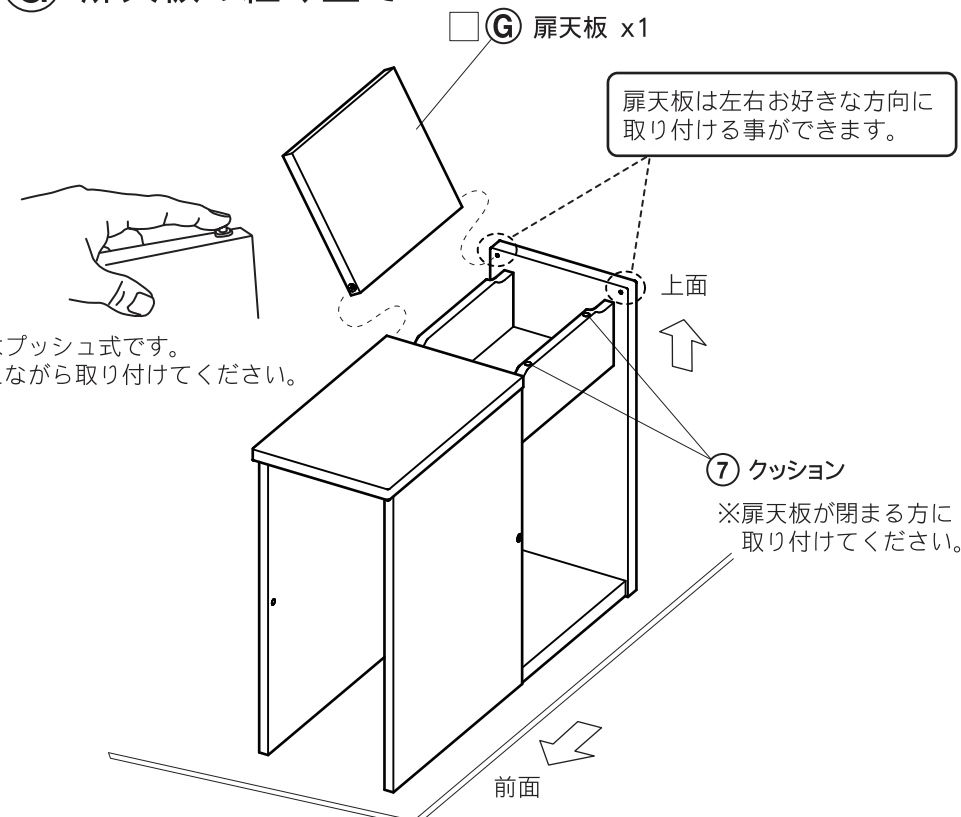
## 9 ラッパネジの本締め

※工程 6 8 で緩めたラッパネジを締め直します。



## 10 ④ 扉天板の組み立て

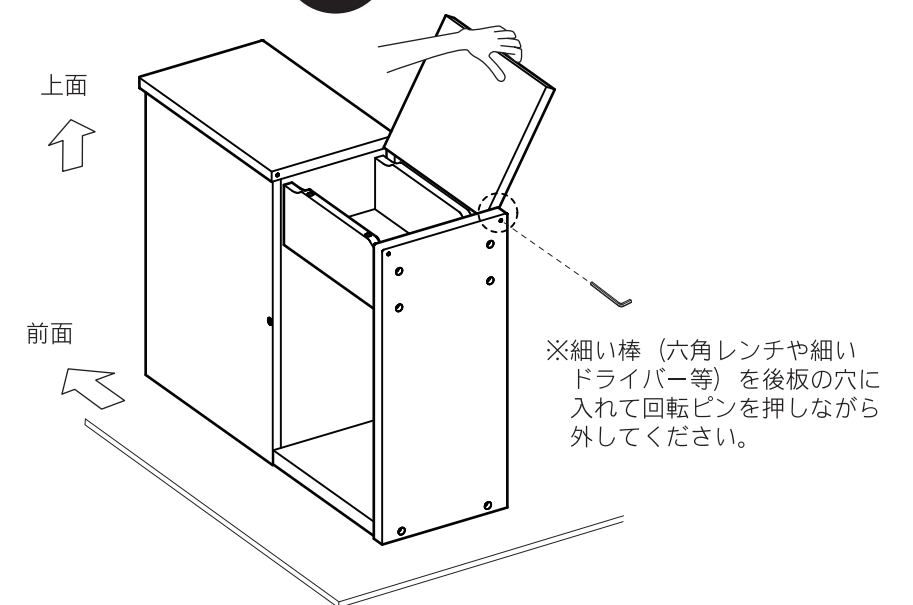
※回転ピンはプッシュ式です。指で押さえながら取り付けてください。



### 扉天板の取り外し方

配線処理や開閉方向を変更したい場合  
下記の方法で扉天板を取り外す事ができます。

**ご注意** 取り外す際、扉天板が落下しないようにしっかりと手で支えてください。

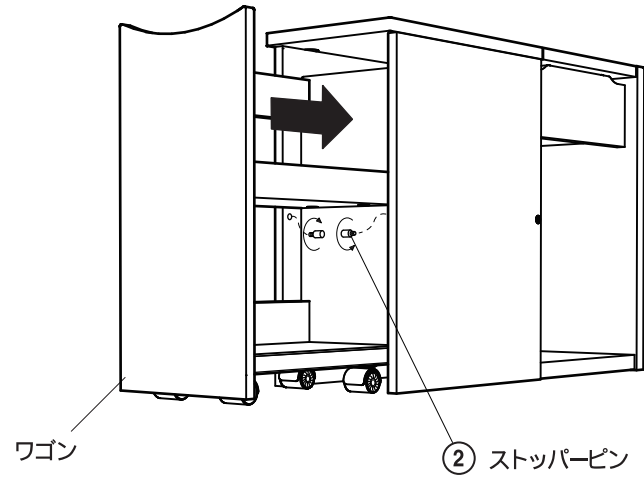




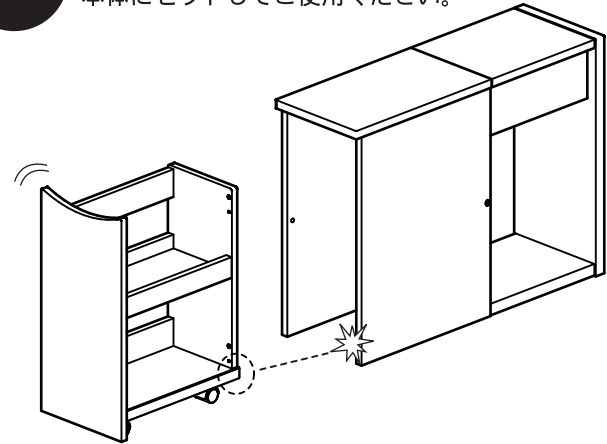
## 11 ワゴンのセット

※工程 ④ で組み立てたワゴンを本体にセットしてください。

**ご注意** ワゴン単体の状態は倒れ易いので本体にセットしてご使用ください。

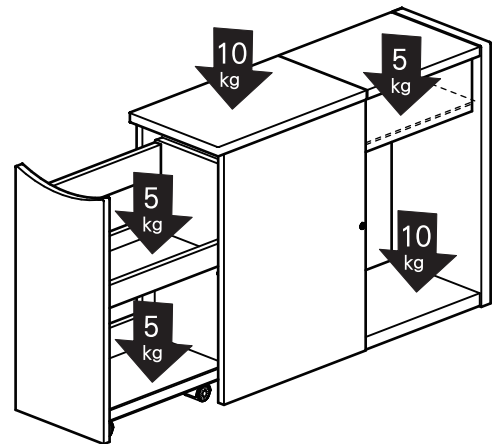


※ワゴン飛び出し防止用のストッパーピンを図のように側板の穴に取り付けてください。



※ストッパーピンを使用しない場合ワゴン底板のフェルトが側板に当たり剥がれる場合があります。

## 12 できあがり!

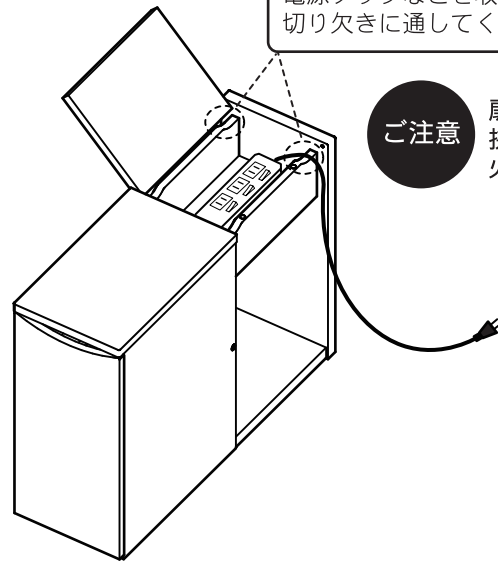


### 耐荷重の目安

天板	10kg
底板(A)	10kg
底板(B)	5kg
ワゴン棚板(底板)	5kg

側板(B)は両側に配線用の切り欠きがあります。電源タップなどを収納される場合、コードを切り欠きに通してください。

**ご注意** 扉天板を開閉する際、コードを挟まないようにしてください。火災や感電の原因となります。



**ご注意** 本体に乗ったり座ったりしないでください。壊れたり転倒してケガをする恐れがあります。

ASAHI WOOD

⑩ ASAHI WOODエンブレム  
お好きな位置に貼ってください

⑧ ネジ隠しシール(木目)

ありがとうございました。



## 使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

### 家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm位が望ましい)部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

### ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっばいに引出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター(移動用小車)付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に乗ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤等(ホルムアルデヒド)が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

### 保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめてらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

PL賠償制度付共済



(社)日本家具産業振興会  
TEL 03-3261-2805